

## 世界と人類を救う本 = この本の出版に込めた思い

「復興・財源は支え合いでこそ **私たちと地球、明日の人類を救え**」

出版記者会見でのレクチャー

毛利正道

事実経過としては、本(第1)に書いたとおりだが、出版後あらためて整理したところ…

現代世界 = 核兵器と原発を先頭にして、  
儲け至上主義による  
大量生産・消費・廃棄 = 浪費 の道を突き進んできた

それが日本において2つの点で破綻した

- 1 3.11大震災 = 地震津波被害の人災による拡大  
その典型としての福島第一原発クライシスと底なしの放射能汚染
- 2 孤立無援社会の蔓延 = 人間社会の崩壊  
客観 溢れる商品に囲まれて誰とも口を聞かなくても一日を過ごせる  
意識 自己責任論 = 敗者となっても社会を恨まず自分を恨め = 支え合い感拒絶

重要なことは

- 3.11によって 日本の多くの人々は  
現代世界が歩んできた道では私たちが生きていけない  
生きてゆくには支え合いが大切だ、と直感的に気付いた

では日本と世界はどのような道を歩むべきか

それは、誕生以来の人類の原点である共同性 = 支え合い、に基本をおいて生きる社会  
被災地でも、それ以外でも、この道に第一歩を

具体的には、例えば

- 1 復旧復興では  
ご近所の寄り合いの機会を徹底して保障する  
支え合いによって復興財源をつくる
- 2 原発・CO2をとともなくし(後者は地球温暖化阻止のこと)、省エネ社会を創るための、  
家庭地域共同による電気・エネルギー地産地消の取組
- 3 国際社会でも  
国際災害緊急援助体制の確立を始めとする地域共同体の連携強化  
核兵器・原発の全廃
- 4 象徴的に言えば、**「人類の支え合いの力を復活させ、核兵器・原発・CO2いずれもなくす道」**

## このブックレット = 世界と人類を救う本 と自負

手軽で(短くて、軽くて、小さくて、安くて)、美しい という特徴を生かし、  
多くの人々に、直感的に感じていることを知性にまで高めてもらえる力になる  
それは、人類がめざすべき世界を創るためのエネルギーになる  
と確信している

「プレゼントにぴったりかも、きれいだし」

ヤングレディから、嬉しいお言葉をいただきました。